

精神科

生理と精神症状の関連性について

発表者 田中ひろ子

精神科神経科一同

I はじめに

精神科，神経科看護において，観察は重要な看護業務の1つであり，いかに正確な把握をするかは，日々の課題である。正確な把握がなされなければ，適切な治療も行なわれがたい。

近年，女子精神病者の性周期ともなり精神症状の変化についての報告がなされているが，当科においてもそのような変化がみられるだろうか。精神症状の把握には身体面からの分析を怠ってはならないといわれるが，生理との関連性を日々の看護の中で，どのようにみているだろうか。

ここに，私共の行なった調査結果を報告し，それについての検討を述べたいと思う。

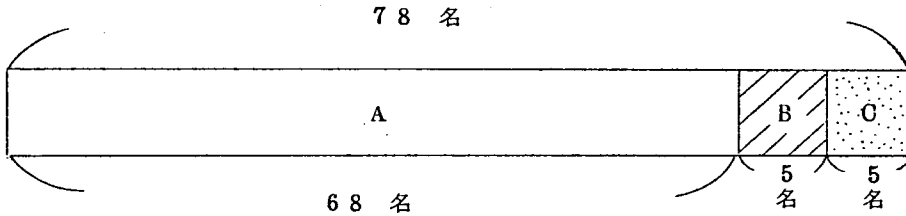
II 調査対象

調査の対象は，昭和47年1月1日～昭和48年4月30日までの間に当科入院し，生理のみられたもの。

なお調査は，カルテ，及び看護日誌，温度表より資料を得たものである。

III 調査結果

調査対象となったものは，78例。うちA)関連性のみとめられぬもの68例。関連性のみとめられぬものの中には，全くみとめられぬものと，記載不十分にて判断できず，みとめられぬものに含まれたものがある。B)関連性ありとみとめられたもの5例。これは2～数回にわたり，生理と平行して精神症状に変動のあったもの。C)発症時に生理ではあったが，経過短く，又記載不十分にて，関連性の有無を判断できぬもの。



症例2 M.N 38才 既婚 分裂病

S46

S47

S48

暦日
27
XII

28 29 30 31 I 2 3 4 5 3 V 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14

M M M

M M M M M

本日入院

昏迷状態

昏迷状態

生理中 ←→ 后

生理前 ←→ 生理中 ←→ 生理后

精神症状状

○ 殆んど口をきかず、接触とれぬ。無表情
○ 食事、排泄の介助必要
○ 幻聴あり。
○ 徐々に笑顔でてくる。
○ 問いかけに反応示すようになる
○ 自発的な行動みられるようになる

○ 少し元気なく感じるも特変なし
○ ポーッとしていて、行動にまとまりない。
○ 口数少なく、接触とれぬ
○ 食事介助必要
○ 表情硬く、ほとんど布団に入っている
○ 表情が出て来る
○ 布団により出て来ることが徐々に増す。

内服薬

RP)

P.Z.C 3Tab
コントミン 75mg
アーテン 6mg

RP)

P.Z.C 3Tab
コントミン 75mg
アーテン 6mg
ビレチア 75mg

注射

7日より 11日まで

① ① ① ① ①

セレンー ス5mg 筋注
" " " "

症例3 E.M 16才 未婚 分裂病

暦日	S47	S48
9	10 11 12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
	M M M M M 本日入院	M M M M M
精神症状	<p>生理前 ←+ 生理中 ↔ 生理后</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地球が爆発する」「人を殺した」という学校で悪いことしたと、登校せず ○「食物に毒が入っている」といって拒食 ○洗面、更衣、排泄が自らできぬ ○拒食、拒薬あり(被毒妄想あり) ○同じ姿勢を保ちつつける ○人物、場所の誤認あり ○十四日より洗面、結髪が自分でできるようになる。 ○笑顔みられる 	<p>生理前 ←+ 生理中 ↔ 生理后</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不眠出現 ○表情硬く、怒りっぽい ○拒薬あり ○「私は悪い事した」「おじいちゃんの声がきこえる」という。 ○「十七日は、レクリエーションに参加する」 ○「テレビで変なこととしてゐる、私が悪い。」とさう ○ボーッとしている ○被毒妄想あり、拒食 ○ボーッとすることなし ○拒食、拒薬なし
内服薬	<p>9日より RP)</p> <ul style="list-style-type: none"> コントミン 100mg ビレチア 75mg ヒルナミン 50mg <p>11日より RP)</p> <ul style="list-style-type: none"> コントミン 150mg セレネース 3Tab ヒルナミン 100mg ビレチア 75mg 	<p>RP)</p> <ul style="list-style-type: none"> コントミン 150mg セレネース 3Tab ヒルナミン 100mg ビレチア 75mg <p>15日より RP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ナーベン 15mg セレネース 4Tab コントミン 150mg ビレチア 75mg ヒルナミン 100mg
注射	<p>10日より</p> <p>①② ①② ①② ①② ①② ①②</p> <p>セルトネーミン 50mg 筋注</p> <p>15日まで</p> <p>①② ①② ①② ①②</p>	<p>10日より</p> <p>①①①①①①①①①①</p> <p>②②②②②①</p> <p>15日</p> <p>①①①①①①①①①①</p> <p>21日</p> <p>①①①①①①①①①①</p>

V まとめ、および考察

この調査において、生理時の精神症状の変化をみてきたわけであるが、下記のようなことがいえるのではないだろうか。

対象78例中、関連ありとみとめられたもの5例。これについては、精神症状の変化が多くの場合、生理開始日の数日前に始まり、生理の発来、ないし終了とともに消失することが、明らかとなった。この5例より当科においても、生理時における精神症状の変化のみられることがいえる。

しかし、5例にての症状は、ほとんどが誰もが、奇異に感じる症状をみる。正常婦人においても、生理時に普通体験するような精神症状の変化(いらいらする。おちつけない。怒りっぽい。少しのことが気になる。気分が集中できない。疲れやすい。憂うつ。思考力減退等)は精神、神経障害のある患者においてはどうか。われわれ看護婦は、身体的な生理との関連をどのようにとらえ看護してきたのだろうか。今回の調査において、今まで生理との関連性に着眼されていなかったからであろうか、看護婦による相違、把握の段階における差にもあるだろうか。関連性はつかめなかった。単に精神症状としてとらえてしまっているようにも思える。調査結果より、生理時の精神症状の変化について、みのがせぬものがあると考え 援助のあり方について努力していこうと思う。